

// 会社の概要 (2023年11月30日現在)

商号 アルテック株式会社
設立年月日 1976年5月15日
資本金 5,527,829千円
従業員数 133名 (グループ全体466名)
所在地 東京都中央区入船二丁目1番1号
住友入船ビル2階

// 役員 (2024年2月28日現在)

代表取締役会長 張 能 徳 博
代表取締役社長 池 谷 壽 繁
取締役執行役員 井 上 賢 志
取締役執行役員 于 勇
取締役執行役員 山 根 清 秋
取締役執行役員 澁 谷 博 規
取締役執行役員 奥 田 哲 太 郎
社外取締役 荒 井 敏 明
社外取締役 中 尾 光 成
社外取締役 中 辻 義 則
社外取締役 中 野 敬 子

常勤監査役 藤 田 清 貴
社外監査役 石 川 剛
社外監査役 豊 島 絵

執行役員 片 山 浩 晶
執行役員 野 上 彰
執行役員 山 部 淳

// 株式の状況 (2023年11月30日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株
発行済株式の総数 15,153,000株
株主数 5,902名
大株主

株主名	持株数	持株比率
	株	%
竹内猛	915,000	6.65
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	692,300	5.03
株式会社三菱UFJ銀行	505,920	3.67
関西チューブ株式会社	485,000	3.52
共同印刷株式会社	432,900	3.14
岩倉正	424,100	3.08
株式会社アルミネ	391,000	2.84
立花証券株式会社	358,400	2.60
村永慶司	280,576	2.04
村永祐司	237,200	1.72

(注) 1. 当社は、自己株式1,383,361株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
2. 持株比率は、自己株式1,383,361株を除いて計算しております。

// 株主メモ

事業年度
定時株主総会
期末配当金受領株主確定日
中間配当金受領株主確定日
株主名簿管理人
(特別口座の口座管理機関)
同連絡先
(郵便物送付先)

毎年12月1日から翌年11月30日まで
2月
11月30日
5月31日 (中間配当を実施する場合)
三菱UFJ信託銀行株式会社

〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)
電子公告により当社のホームページ
(<https://www.altech.co.jp/>)に掲載します。
ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告がでない場合は、日本経済新聞に掲載します。

公告の方法

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

第48期 報告書

2022年12月1日
～2023年11月30日



ALTECH
アルテック株式会社

証券コード：9972



この冊子は環境への配慮のため、FSC®森林認証紙と植物油インキを使用しています。

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第48期（2022年12月1日から2023年11月30日まで）のアルテックグループの営業の概況についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、不安定な世界情勢を背景とした為替変動や物価上昇等の影響を受けつつも、コロナ禍からの経済活動正常化が進み、緩やかな回復基調となりました。一方、海外においては、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に起因する資源価格の高騰、米国における銀行破綻やスイスの金融大手の救済合併を契機とした金融不安、世界的な金融引締め、ゼロコロナ政策解除後の中国経済の景気回復の鈍化等により、先行き不透明な状況で推移しました。

このような市場環境の下、当社グループは、2021年1月に策定した中期経営計画の基本方針に基づき、商社事業においては、既存商権で安定した収益を確保したうえで、周辺機器への商権拡大と提案力の向上、無人化や非接触等の社会課題の解決に貢献する商品・サービスの提供に取り組んでまいりました。プリフォーム事業においては、生産効率改善の推進、樹脂使用量の削減と再生素材の使用による環境負荷の低減に取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高は17,832百万円（前期比9.3%増）となったものの、プリフォーム事業での材料費の増加や新規事業の立上げ費用の発生等により営業損失275百万円（前期は営業利益440百万円）となりました。営業損失の計上に加え、持分法適用会社1社の保有する資産運用商品に債務不履行が発生し持分法による投資損失703百万円を計上したこと等により経常損失963百万円（前期は経常利益476百万円）となり、さらに、中国連結子会社1社の遊休資産に関する減損損失93百万円を計上したこと等により親会社株主に帰属する当期純損失1,026百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純利益402百万円）となりました。

（セグメント別）

商社事業につきましては、フレキシ印刷機、ブロー成型機、シリンジ充填ライン、ICカード関連装置等の販売により増収となったことに加え、コストコントロールの徹底に努めたことにより増益となりました。その結果、売上高は10,317百万円（前期比10.8%増）、セグメント利益は547百万円（前期比17.7%増）となりました。

プリフォーム事業につきましては、飲料用プリフォームの販売数量の増加等により増収となったものの、世界的な資源価格の高止まりの影響を受けて材料費や水道光熱費等が増加したこと、新規事業である再生ペレット製造事業の立上げ費用が発生したこと、第2四半期連結会計期間末に連結子会社化した六盤水普程環保科技有限公司において操業立上げが計画より遅れたこと等により損失を計上いたしました。その結果、売上高は8,118百万円（前期比15.0%増）、セグメント損失は606百万円（前期はセグメント利益164百万円）となりました。

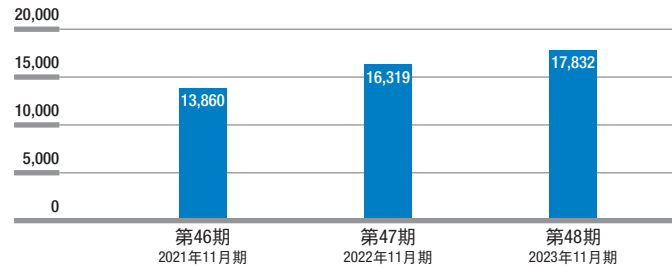
引き続き株主の皆様には一層のご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



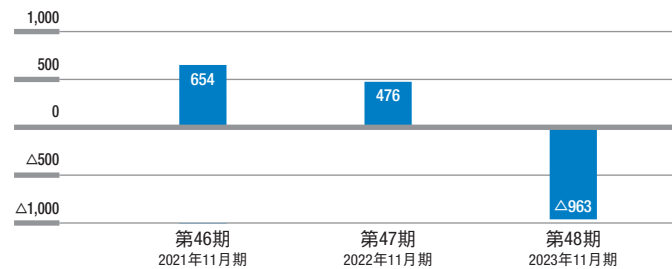
2024年2月
代表取締役社長
池谷 壽繁

連結業績ハイライト

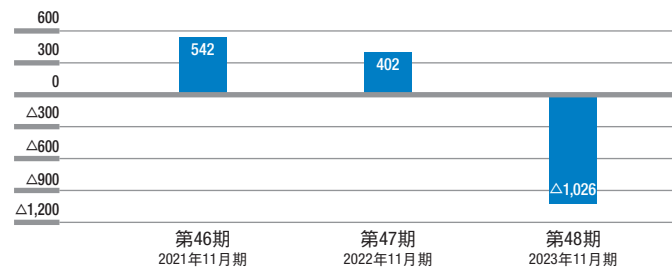
売上高（単位：百万円）



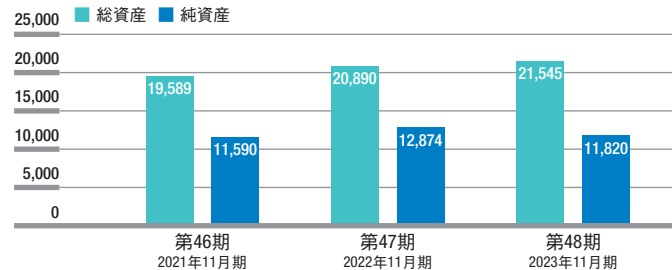
経常利益（単位：百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益（単位：百万円）



総資産／純資産（単位：百万円）



トピックス

「トルコKARSAN社の小型ノンステップ電気バス「e-JEST」を発表・発売

当社は、2022年にトルコのKARSAN社より小型ノンステップ電気バス「e-JEST」の欧州仕様 DEMO 車を輸入し、首都圏、甲信越を中心に実車を用いて市場調査を実施いたしました。その結果、従来にないコンパクトサイズと高い安全性能を持つ「e-JEST」は、主に観光地の自治体や高齢化が進む地域に需要があると判断し、昨年4月にKARSAN社と日本国内の総販売代理店契約を締結いたしました。

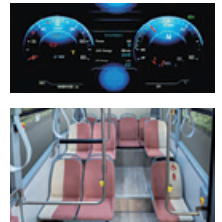


昨年12月20日にトルコ大使館で「e-JEST」の発表・発売セレモニーを開催し、本格的な販売活動を開始いたしました。KARSAN社は世界22カ国1,000台以上の販売実績があり、2020年より3年連続で欧州の3.5～8トンの電気ミニバスクラスでトップブランドを維持しております。また、当社は点検・整備等のアフターサポートの面でジェイアールバス関東株式会社という強力なパートナーと契約を締結し、販売からアフターサポートまでお客様のご要望に対応できる体制を整備してまいりました。「電気バスが走る人や環境に優しい地域づくりの実現」に向けて社会に貢献してまいります。



「e-JEST」の特長

- 全長6m未満のノンステップ電気バス
- バッテリーを後部座席の床下に配置し、広くて明るい室内を実現
- 信頼性の高いBMW「iシリーズ」のモーターを搭載
- ドライバーの快適性を考慮
- 安全・安心を約束する充実装備



「飲料メーカーから認められる高品質の再生ペレットを提供」

当社の再生ペレットは、欧州のプラスチックリサイクル分野で高い技術力が評価されているNGR (Next Generation Recycling machines GmbH) 社製PET樹脂再生装置で製造しており、食品グレードの品質で安全・安心が保証されております。NGR社のリサイクル技術は、リサイクルプロセス中の効率的なマテリアルハンドリング、最小化されたエネルギー消費、カスタムマシン構成により、廃棄物をリサイクル材料として再生するものであり、環境保護につながる技術です。当社はこのPET樹脂再生装置を用いて「ボトルtoボトル水平リサイクル」に取り組んでいる飲料メーカーと共に持続可能な循環型社会の実現を目指してまいります。

